



今日のトピック **豪ドルは当面堅調な推移（2020年12月）**
政策金利を0.10%に据え置き

ポイント1

豪州中銀は政策金利据え置き
国内統計改善も慎重さ維持

- 豪州準備銀行（RBA）は、12月1日に開催した金融政策決定会合で、政策金利のキャッシュレート及び3年国債の利回り目標を0.10%に据え置きました。11月会合において政策金利の引き下げ、量的緩和（QE）の追加導入といった大規模追加緩和を実施していたこともあり、今回は様子見姿勢を維持との見方が大勢でした。
- 声明文は、足元の予想を上回る国内経済統計に触れつつも依然慎重なトーンを保っており、先月同様「少なくとも今後3年は政策金利の引き上げを予想しない」、「必要に応じてさらなる手段を準備する」旨が示されました。

ポイント2

雇用、小売は堅調
10月統計は経済回復基調を示す

- 10月の雇用統計は就業者数が前月差+17.9万人と市場予想（同▲3.0万人）を上回り、9月（同▲4.3万人）から増加に転じました。失業率は7.0%（9月6.9%）とわずかに上昇しましたが、労働参加率が65.8%（9月64.9%）へ大きく上昇しており、総じてみると雇用環境の緩やかな回復が窺われる内容でした。
- また、10月の小売売上高（速報値）も前月比+1.6%と9月（同▲1.5%）の落ち込みから大幅に回復し、市場予想（同+0.7%）も大きく上回る結果となりました。前年比でも+7.3%と9月（同+5.6%）の伸びから加速しています。

今後の展開

豪ドルはリスクをにらみながらも堅調な推移

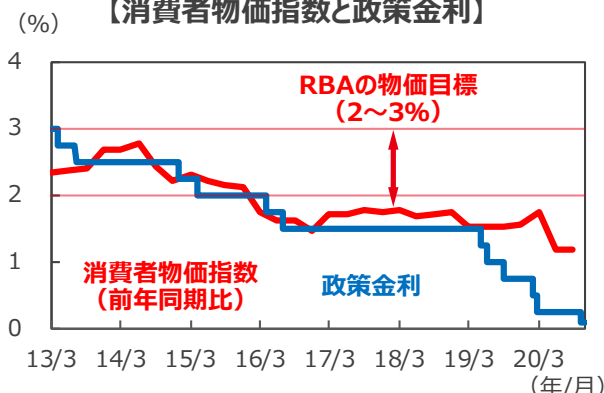
- 豪州では、引き続き新型コロナ感染拡大が収束しつつある状況です。ビクトリア州など主要州で11月下旬より州境閉鎖措置が段階的に解除されるなど、経済活動制限が緩和に向かっていきます。足元、豪州と中国の通商関係に対する懸念が高まっている点などには注意が必要ですが、国内外経済の緩やかな回復や、財政政策への期待感などを背景として、豪ドルは当面堅調な推移を辿ると予想されます。

ここも
チェック!

2020年12月1日 最新 オーストラリアマーケット動向（2020/12/1）
2020年11月10日 アジア・オセアニアのリート市場は米大統領選を通過し反発

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

【消費者物価指数と政策金利】



(注) 消費者物価指数は2013年1-3月期～2020年7-9月期。消費者物価指数は異常値をつけた項目を除外したトリム平均値。政策金利は2013年3月31日～2020年12月1日。
(出所) オーストラリア連邦統計局（ABS）のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

【豪ドル円レートと豪日金利差】



(注) データは2018年1月1日～2020年12月1日。豪日金利差は3年国債利回りの差。
(出所) FactSetのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成